

# 視聴覚教育

NO. 476

発行日

R4. 10. 5

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

## これ知ってる！？ 「ブレイクアウトルーム」

Teams やZoom を用いたオンライン会議において、参加者を少人数のグループに分けて会話する機能。それぞれのグループに参加者を振り分けるなど、多少の設定が必要だが、オンライン授業中でもチーム学習が可能となる。状況に応じて使えるようにしたい。

## 「能動的なサービス」を目指して

視聴覚ライブラリー所長 福澤 純子

1895年。パリで、工場から出てくる労働者を撮影した一分ほどの映像が上映されました。これはNHK「映像の世紀」という番組の冒頭で、世界初の本格的な上映映画のエピソードとして紹介されたものです。その一分間のストーリーも盛り上がる場面もない動く映像から、動画の歴史が始まりました。そこから、音声を伴うカラー映像となり、フィルムによる上映だけでなく、テレビ放送、テープ・DVDによる再生視聴、インターネットによる送受信と急速な技術革新を遂げ、動く映像は飛躍的に進展しました。

本市の視聴覚ライブラリーも、昭和29年度に16ミリフィルム52本と16ミリ映写機一台でスタートし、ビデオテープ、LD、DVD、映像配信と映像を伝える方法を広げてきています。

本年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため見送ってきた「親子映画会」を三年ぶりに開催しました。すると、予約開始当日に、ほとんどの会場が満席となるなど、市民の方の関心の高さを認識することができました。映画会では、16ミリフィルム

の映画だけでなく、フィルム一枚一枚の描かれたコマが、連続して動画になっていくことが目で分る映写機の仕組みを食い入るように眺める方もみえました。映像と共に再生する機器を伝えていくことの大切さも改めて実感した次第です。視聴覚ライブラリーの活動は、「映像を伝える」だけではなく、教材制作の協力や教材コンクール主催等も行っています。これは、私たちが視聴を超えて主体的な教育を発信する「能動的なサービス」を目指しているからです。

中でも、昭和49年度から続く自作視聴覚教材制作は、現在教材数約320本を数えます。そして、全国自作視聴覚教材コンクールにおいて、最優秀賞を3回受賞するなど、自作教材として高い評価を受けています。これらすべての教材は、貸し出しだけでなく、市内小中学校にDVD等で配付され、学校教育に生かされています。

たった一分間の上映から始まった、動く映像一世紀の歴史。

視聴覚ライブラリーは、常に時代に即応した「能動的なサービス」を目指し、今後も視聴を超えた先進的な取組を進めていきます。

## 視聴覚教育あれこれ！！

### 令和四年度岡崎市教育研究大会

令和四年度岡崎市教育研究大会の学習情報分科会は、「デジタル・シテイズンシップを高め、Society.0を伸ばしやかに生きる子供の育成」をテーマに、熱心に取り組まれた十三本の実践レポートが報告された。レポートを見ると、GIGAスクール構想を踏まえ、一人一台のMyタブレットの活用が日常的になつていくことを実感する。さらに、児童生徒がICTをよりよく活用するための方法を、自ら考えられるように支援を行う教員の姿が伝わってきた。レポートの分類は次の通りである。

- ① プログラミング学習を活用した実践（二点）
  - ② 各教科・領域で日常的にMyタブレットを活用した実践（五点）
  - ③ 各教科・領域で表現・交流のためにMyタブレットを活用した実践（四点）
  - ④ 情報社会をよりよく生きる心の育成を目指した実践（二点）
- 尚、「父母と教師の教育を語る会（県教研）」には、次の二名が推薦された。

・生平小学校

石谷 遼一 先生

『ICTを活用した主体的・協働的な学びを

通して、学びを深める子の育成

各教科・領域における

Myタブレットの活用とチーム学習

・美川中学校

杉下 尚 先生

『デジタル・シテイズンシップを高め、

Society.0を伸ばしやかに生きる子供の育成

2年生地理的分野

「中部地方」の実践を通して

## 実践報告Ⅱ

### 情報モラル「投稿してもよいか考えよう」

岩津中学校 桂 泰輔

中学一年生の特別活動の授業で、SNSの使い方について考えた。SNSに投稿された言葉がどのような影響を与えるのかを考え、よりよい使い方とは何か判断できるようにすることを目指した。始めに、生徒が普段知っているSNSを例にして、SNSがどのようなものかを確認した。

次に、SNSに見立てていくつかの投稿文をスクリーンショットで提示し、投稿しても問題ないかを考えて、「よい」「悪い」に分類する作業を行った。「悪い」に分類した投稿文については、なぜ悪いのか理由を考えてグループの仲間と話し合った。すると、他人の悪口、風評被害となるようなもの、自分の居場所が簡単に特定されてしまうようなものなど、「悪い」の中にもさまざまな理由があることが見えてきた。SNSは使い次第で便利なツールになるが、誰を対象としているか、どんな情報が必要になるかなど、適切な情報を取捨選択して受け手に分かりやすく伝える必要があることも考えた。生徒は、伝えることに合わせて、伝えるべき情報を決める必要があると気付いた。

まとめには「話し合ったことで、人によって感じ方が違い、自分がよいと思った投稿も不快な思いをさせてしまうことが分かった。」とあり、多様な考えに触れる中で、SNSのよりよい使い方を深く考えることができたことが分かった。



## 「レッツ・トライ」情報モラルⅡ

### 誰かを守るためのルール

美合小学校 磯貝 優花

今年度担任している五年生の児童は、YouTubeやニコニコなど、動画投稿アプリやサイトを日常的に利用している。そして今や、観るだけにとどまらず、「投稿」をすることへのハードルも低くなっているように感じ、「投稿」について児童と考える時間を設けた。

始めに、あるYouTuberの動画を見せたところ、「よく見ている人だ」と意見が上がり、多くの児童にとつて身近な存在であることが分かった。

次に、「これから先、動画を投稿してみたいか」と投げかけると、一部の児童から「自分で作った動画を多くの人に見てもらえたら嬉しい」と投稿をすることに對して抵抗がなく、ポジティブに考えている児童が何人かいた。そこで、YouTubeには十三歳以上でないと利用できないルールがあることを紹介すると、多くの児童から「知らなかった」と声があがった。最後に、なぜそのようなルールがあると思うかと投げかけると、ある児童が「子供が見るとよくないものも、流れてきてしまっているから」と発言し、多くの児童がうなずいていた。

誰かを守るためにあるルールであっても、周知されていなければ意味をなさない。ルールを教えることも、教師の仕事であると改めて感じた。



## 「レッツ・トライ」だより

### 令和四年度購入教材紹介

本年度新規貸出を始めた教材の一部を紹介いたします。学びの秋の手助けになれば幸いです。貸出を希望する場合は視聴覚ライブラリーへ連絡を。TEL 23-6789

#### みんなの情報モラルⅡ

アニメ 20分 小・中対象



「みんなの情報モラル」シリーズ最新版。全三話で構成、SNSからの情報発信の影響とそれに対する責任について紹介しています。

#### ズッコケ三人組のいじめをなくす作戦

アニメ 15分 小対象



この作品では、ズッコケ三人組のクラスでのいじめについて、「いじめは絶対してはいけない」という意識、被害者の気持ちに寄り添える思いやりを育む大切さを訴えます。

#### サンタ・カンパニー クリスマスの秘密

アニメ 27分 小対象



主人公はクリスマスが大嫌い。両親は離婚し、一緒に住む父親も仕事に大忙し。今年も一人ぼっちかと憂鬱な気持ちで自宅に帰ると、なぜかそこには「サンタ・カンパニー」という名の不思議な会社が広がっている？